

社会連携室だより

「社会連携室だより」は、松山大学の教職員・学生が主体となり実施した地域社会連携・貢献活動を、皆さま方に広く知っていただくことを目的に、様々なトピックを取り上げ、不定期に発行していきます。

学生による社会連携活動

今年度よりスタートした本制度で、多くの学生が社会連携活動を行っています。今回は実際の活動の様子や学生の体験談をご紹介します！

されだにきてみん祭に学生3名が参加！

11月8日（日）に伊予市佐礼谷地域で開催された「されだにきてみん祭」に学生3名が参加しました。



【主催者の声】

丁寧で笑顔あふれる対応をいただきありがとうございます。ブースの雰囲気も大変良かったと感じています。

また機会がありましたら、ぜひともご参加いただきたいと思います。

【参加学生の声】

- ・人がとても温かった。
- ・色々味見もさせてもらい、佐礼谷地区の食や魅力を感じた。
- ・受付の仕事で、お金管理などを任せていただき、良い経験ができた。
- ・参加してよかった。

久万高原結い音楽祭に学生2名が参加！

11月29日（日）に久万高原町中津地域で開催された「久万高原結い音楽祭」に学生2名が参加しました。



【参加学生の声】

山奥の方のイベントを行うことで町の活性化に繋がると共に、人と人との交流を目的としていると伺いました。地域の方々は皆さん良い人ばかりで、大変お世話になりました。貴重な経験をさせていただきありがとうございました。

【主催者の声】

主に中津若志会(わかいしかい)のピザ作りを担当してもらいました。若志会のピザは大変好評で、終始予約待ちとなる慌ただしい状況の中、2人が中でどんどん生地を作ってくれるので2人に手伝ってもらえて本当にありがたかったと若志会の小田原会長からお話がありました。

本学学生が修学旅行生をおもてなし

松山市は近年、修学教育旅行の誘致に力を入れており、本学においても連携協力により、10月8日（木）に愛知県立知多翔洋高等学校、10月15日（木）に愛知県立阿久比高等学校の受け入れを行いました。

本学ではNPO法人松山大学学生地域創造研究所【Muse】による大学紹介や松山観光案内などを行い、修学教育旅行を楽しんでいただくことができ、大学としても有意義な機会となりました。



修学旅行生と学内ツアーへ♪

その他の社会貢献事業

溝上ゼミ萱町商店街夏祭り出店

7月24日（金）の夕刻、恒例となった萱町商店街の夏祭りが開催され、経営学部・溝上ゼミが子供向けのゲームのお店を出しました。

溝上ゼミでは、実務を通じて学問への探究心を深めていくことを重視しており、出店はその活動の一環として行われ、同商店街の夏祭りへの参加は今年で8回目となります。参加した学生からは「商店街の方といろいろお話させていただき、良い経験ができた。」「子供たちが喜んでくれて嬉しかった。」などの感想が聞かれました。

最後に、貴重な機会をいただいた商店街の皆様へ感謝の気持ちを込めて、参加者で商店街の清掃活動を行いました。



こどもたちとふれあうゼミ生

生涯学習事業

松山大学コミュニティ・カレッジ(2015 秋期)講座 開講!

10月1日(木)より、松山大学コミュニティ・カレッジ(2015 秋期)が開講し、多くの市民の方に受講していただいております。

今期の開講状況と講義の様子をお届けいたします。

【今期開講状況】

教養講座：8講座 126名

語学講座：10講座 170名



今期一番人気! 超簡単英語で「お接待」



フランス語でコミュニケーション!

松山大学・カルスポ公開講座「悠悠デジタル講座」 開講!

9月16日(水)より、松山大学・カルスポ公開講座「悠悠デジタル講座」(Aクラス・Bクラス各7回、コーディネーター：経済学部教授 松本直樹)が開講しました。各クラス定員の60名を超える応募があり、受講生はサポート学生と触れ合いながら、パソコンに対する不安解消とスキル向上のために受講されています。

出張型公開講座(高知・大洲・宇和島・今治・四国中央) 開催!

今年度も県内外 計5地区へ出張し、本学の専任講師による出張講座を開催しました。

今回は、受講生の声と講座の開講状況をお知らせいたします。

開催地	日程	会場	受講者数	講師(テーマ)
高知	9月26日(土)	高知市青年センター	21名	舟橋達也(食中毒を防ぐために) 山田富秋(薬害エイズ事件を再考する)
大洲	10月17日(土)	大洲市総合福祉センター	53名	難波弘行(花粉症の原因植物と治療法について) 田村公一(日本企業の国際マーケティング)
宇和島	10月18日(日)	宇和島市生涯学習センター	49名	田村公一(日本企業の国際マーケティング) 見留英路(息を吐くだけの健康診断?)
今治	11月28日(土)	今治地域地場産業振興センター	48名	出石文男(健康とクスリ) 山田富秋(薬害エイズ事件を再考する)
四国中央	11月29日(日)	四国中央市福祉会館	89名	玉井栄治(冬に気をつけたい感染症) 松本直樹(ギリシャ問題とアベノミクス)
計 5 地区			260名	

【高知】

- 食中毒のことをわかりやすく説明していただいたので、今後の日常生活ですぐ役立てることができます。
- マスコミ報道の異なる実際の話を知ることができ、見方が広がりました。

【大洲】

- 時事問題やニュースなどを取り上げた話だったので理解しやすかった。
- 薬の効能と副作用、改めて勉強になりました。
- 良かった。おもしろかった。現実的な話が多かった。

【今治】

- エイズデーを前に勉強になった。薬にはリスクがあることを踏まえて使用していくことを再認識した。
- 地域に寄与する大学として今後も学術的知識を教えてもらえることを期待する。

【四国中央】

- さびついた頭にはとても新鮮で感激しております。
- 勉強できるチャンスを嬉しく思う。
- 知識の補充ができました。松大へ行って学びたいです。(高校生)

【宇和島】

- 新聞・テレビ等で言わない話が聞けたのが大変良かった。
- サービスされるものが日々研究されていることがよく分かり、こういう機会でも勉強することが大切だなと思いました。

★次号では、社会人基礎力育成事業についてお届けします★

経営企画部社会連携室

松山大学文京キャンパス東本館5階

電話番号：089-926-8246 (内線：617)

F A X：089-926-7973

メール アドレス：mu-renkei@matsuyama-u.jp

お願い

「社会連携室だより」では、松山大学の教職員、学生が主体となり実施した地域社会連携・貢献活動を取り上げ、不定期に発行していく予定です。社会連携室が管轄して行ったもの以外にも、ゼミやサークル単位等で実施した活動がございましたら、社会連携室まで情報提供をお願いいたします。